

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

別添資料11

公表: R6年1月1日

事業所名 アップル上汐

保護者等数(児童数) 24人 回収数 22人 割合 91.7%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	1				・活動スペースを安全に確保するために、活動毎に子どもたちにわかりやすくエリアを分けている
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	20			2	・配置数、専門性に関してはアップル通信でお知らせを頂いています。スタッフの方々の自己紹介等があって親子共、楽しみにしております。	・1日平均6人の支援員を配置している。 ・介護福祉士、教職、勤続年数5年以上のスタッフを配置。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	21			1	・こちらに専門知識が少ない為、わかりませんが適切にされていると思います。	・バリアフリー対応(一部除く) ・手すりの設置
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	22				・面談や随時、対応して頂いています。 ・本人の能力やその日の様子を見て無理なく過ごさせています。	・半年に一度モニタリング、アセスメント、個別支援計画の作成 ・細かく丁寧なアセスメントを実施し、社内会議で検討、必要であれば関係者会議を開いている。 ・気になること等があれば、随時保護者と情報共有し(連絡帳、電話、SNSを活用)対応している。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	21	1			・面談のたび、達成出来そうな目の前の目標を、話の中から一緒に考えてくださり、家でも無料無く自然と取り組んでいます。(今だとスプーンたてからスプーンを自分で手に取る)	・外出活動や製作活動、みんな遊びやお手伝い等を個別スケジュールに取り入れている。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	5	1	13	・地域の学校がインクルーシブを充実させた上で主催すべき事でデイサービス事業所が行う必要性は無いと考える ・わからないと答えましたが機会があればとは思いますがそんなに必要だと思いません。	・近所の公園や外出先で健常児との交流がある時もあるが、積極的に機会を設ける等の取り組みは行っていない。
	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22					・半年に一度の面談、相談や困りごとがあればその都度対応している。

保護者への説明等	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	22	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃からお話を聞いて頂いたり、丁寧な対応を頂きありがとうございます。</li> <li>・相談しやすいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳での報告に加え、伝達が早い方が良いとされる内容(例えばケガや体調)については電話連絡、SNSを活用し事前に共通理解を図っている。</li> </ul>	
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22					<ul style="list-style-type: none"> <li>・半年に一度の面談、相談や困りごとがあればその都度対応している。</li> </ul>	
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	3	5	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トラブルの元にもなるため必要性を感じない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要ないという保護者の方の意見等もあり、検討を重ねていたが、次年度は開催する方向で検討中。</li> </ul>	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20				<ul style="list-style-type: none"> <li>・何かあった時は迅速かつ丁寧な対応をさせて頂いています。</li> <li>・アフターフォローもアフターケアもとても感謝しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひやりはっとの作成</li> <li>・苦情対応になる前に、日頃から保護者様と連絡を密に行い、信頼関係を築いている。</li> </ul>	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22					<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話、SNS(連絡帳含む)の活用(保護者様)</li> <li>・絵カードの提示、その他視覚支援等</li> </ul>	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	21				1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TwitterやInstagramでの情報発信</li> <li>・2021年12月～HUGシステム運用にて活動記録を発信</li> <li>・不定期ではあるが事業所通信として『アップル通信』作成、配布。</li> </ul>	
非常時等の対応	14	個人情報に十分注意しているか	21				1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人書類等は鍵のかかった棚に保管。</li> <li>・配布物について誤って入れ間違い等が生じても個人情報が守られるように別封筒に入れている。</li> </ul>	
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	19	1			2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練なども取り組んで頂いており自宅でも、話してもらっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回設備点検を実施</li> <li>・事業所通信にて保護者へ報告、説明</li> <li>・備蓄品の定期的な確認</li> </ul>
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18	1			3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動中、災害があった場合の引き渡し等の心配はある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回避難訓練の実施</li> </ul>
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	22					<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校を休まれても子どもがアップルには行きたいと言っていると、保護者様から聞かせていただいたり、日数を増やしたい、お出掛けには声をかけて欲しい等の意見もいただいている。</li> </ul>	

満足度	18	事業所の支援に満足しているか	22				<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちはもちろん、保護者の皆様にも「安心、安全」に過ごしていただける事業所を心掛けている。</li> <li>・保護者の方にとってはご自身の命より大切なお子さまをお預かりしていることを意識し、支援や対応にあたっている。</li> <li>・個別に必要な支援を計画に取り入れ、可能な限り実施している</li> <li>・買い物支援、交通支援、SST、学習支援、運動療育、ベクス、自立支援等</li> <li>・貴重なご意見をいただき有難く感じている。ご希望に添えるよう、また行うそのイベント等を通じて、利用児童の成長を促したり、社会体験、いろんな経験を積めるように工夫して考えていきたいと思っている。</li> </ul>
							<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前に一度、アクセサリを作るイベント?!があったと思います。</li> <li>また機会があればやって欲しいなあと思います。</li> <li>・今は特にありませんがあればお伝え致します。</li> <li>・アップルのOBが参加できる時間があるいいなあと思います。</li> <li>・お泊まり体験</li> <li>・兄妹児童の交流参加</li> </ul>

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。